



匠 瑛 市 で 生 ま れ た リカちゃん人形



◀ 初代「リカちゃん」の製造風景



▶ 初代リカちゃん

昭和42年7月4日発売、爆発的なヒット商品となった「リカちゃん人形」。この初代リカちゃん人形が、実は匠瑛市で作られていたことをご存じでしょうか。誕生から45年。今でも、毎年約100万体が販売される超人気者のリカちゃん。本市で生まれた経緯をたどってみました。

「初代リカちゃん人形が匠瑛市で作られていたことをご存じですか」：今まで聞いたことのないびっくりする情報。製造が昨年寄せられました。製造に携わっていたとされる「現・タイヘイ(株)」を訪ねて

みると、当時の状況を知る監査役の花澤美子さんから、初代リカちゃん人形の製作作業の写真を見せていただき、子どもたちに人気のリカちゃんを身近に感じることとなりました。

リカちゃんを製造
タイヘイ(株)監査役
花澤美子さん



入社1年後の昭和42年にリカちゃん人形の製造が始まりました。現在の本社社屋が製造ラインで、休む間もなく生産が続けられ、髪の毛の植毛、顔を描く作業は大勢の内職で賄っていました。2年間限りの製造でしたが、携わった多くの社員、パートさんに感慨深い出来事として語り継がれています。

◆リカちゃん誕生物語

製造元である「現・(株)タカラトミー(葛飾区)」広報部によると、初代リカちゃん人形の開発を担当したのは、「育ての親」と呼ばれる小島康宏さん(旧・タカラ専務)。

小島さんは平成21年4月、リカちゃん人形誕生のエピソードをつづった「リカちゃん生まれまます」(発行/集英社クリエイティブ、発売/集英社)を出版。その中で、発売前の苦労話や元タイヘイ社員の大川茂晴さんのコメント、製造風景などを5ページに渡り紹介しています。出版により、本市でのリカちゃん誕生が一躍脚光を浴びるところとなったのです。

◆匠瑛市で製造された経緯

リカちゃん人形は、発売年

の昭和42年、商品化に向けて旧タカラ本社近くの「現・(株)シバ」に製造が依頼されました。しかし、工場が手一杯のため、当時、多角経営を始めた「タイヘイ」に白羽の矢が立ち、製造が開始されました。タイヘイでは、発売を前に40人体制で400ダース、4千8百体を目標に製造を続け、7月4日の発売後、1か月で4万3千体売り上げる空前のヒット商品となり、以降2年間、本市で製造されました。



「リカちゃん
生まれまます」
(発行=集英社クリエイティブ/発売=集英社)
著者・小島康宏さん

発売前、毎日、片道2時間半かけて八日市場の工場へ通いました。工場では、おぼちゃんたちが割烹着に姉さんかぶりでラインの脇に座っていました。40人程が働いていました。ほとんどが近くの農家の奥さんで、400ダースをそろえようと、残業もして手伝ってくれました。多くの人との出会いが「リカちゃん」の思い出です。

関 産 業 振 興 課 商 工 観 光 室

☎ 73・0089

お酒と 出会いを 楽しむ 居酒屋で婚活

居酒屋でお酒を楽しみながら出会いを広げてみませんか。お酒が飲めない人はソフトドリンクで乾杯。くつろいだ雰囲気の中でじっくり会話を楽しみましょう。



日時… 2月16日(土) 18時30分～20時30分
会場… 市内の居酒屋(詳細は後日参加者に通知)
 ※直接会場に集合してください。電車で来る人はJR八日市場駅から会場までを送迎しますので事前に相談してください。
内容… 自己紹介、グループトークなど
対象者… 20歳～45歳の独身者(男性は市内在住者に限る)
定員… 男女各10人、計20人(申し込み多数の場合は抽選)
参加費… 男性4,000円、女性2,000円
申込締切… 1月25日(金)※定員に満たない場合は随時受付。
申込方法… 電話またはメールで「住所、氏名(ふりがな)、性別、年齢(生年月日)、電話番号」をご連絡ください。メールの場合はタイトルに「居酒屋申込」と入れてください。

◆**注意事項**
 ①抽選結果などは、開催日の約10日前までに郵送します。
 ②キャンセルはないようにお願いします。参加決定後、指定日以降にキャンセルされた場合には、参加費分の負担をいただきます。
 ③お酒を提供しますので、交通手段を事前に確保してください。
 ④車で来場する人は必ず運転代行などを利用してください。飲酒運転は絶対にしないようにお願いします。

◆**申し込み・問い合わせ**
 企画課まちづくり戦略室 ☎73-0081
 メール k-senryaku@city.sosa.lg.jp

地球温暖化防止実行計画の進捗状況

温室効果ガスが13.7%減少



市では市役所などでの事務および事業に関し、温室効果ガスの排出などの削減を行うことで、地球温暖化対策の推進を図ることを目的とした「匝瑳市地球温暖化防止実行計画」を策定し、取り組みを行っています。計画期間は、平成21年度から24年度までの4年間とし、市の事務および事業に伴う温室効果ガスを、基準年度(平成19年度)に比べて平成24年度までに6%以上の削減を目指すものとしています。

◆**表1 温室効果ガス排出量などの状況**

	二酸化炭素換算 排出量 (kg-CO ₂)					平成23年度 削減状況	
	平成19年度 基準年度	平成20年度 《参考》	平成21年度 計画初年度	平成22年度 2ヵ年度目	平成23年度 3ヵ年度目	増減量	増減率 (%)
燃料使用に伴うもの	1,566,560	1,545,440	1,446,117	1,454,066	1,428,778	▲137,782	▲8.8
電気使用に伴うもの	3,112,098	2,869,456 (2,822,194)	2,631,179 (2,377,348)	2,781,883 (2,454,603)	2,605,784 (2,844,903)	▲506,314 (▲267,195)	▲16.3 (▲8.6)
自動車走行に伴うもの	9,930	9,494	8,688	9,023	9,206	▲724	▲7.3
自動車エアコンに伴うもの	2,399	2,418	2,447	2,379	2,525	127	5.3
全体	4,690,986	4,426,809 (4,379,547)	4,088,431 (3,834,600)	4,247,352 (3,920,072)	4,046,293 (4,285,412)	▲644,693 (▲405,574)	▲13.7 (▲8.6)
参考 水道使用量 (m ³)	126,699	117,327	116,796	108,314	105,333	▲21,366	▲16.9
参考 コピー用紙使用量 (枚)	6,041,074	6,551,350	6,668,602	5,876,059	6,509,925	468,851	▲7.8

注1 表示単位未満を四捨五入しているため、合計値が一致しない場合があります。
 注2 表中下段()書きについては、電気使用に係る当該年度におけるCO₂排出原単位を考慮した数値。
 排出原単位: 19年度0.425、20年度0.332、21年度0.324、22年度0.374、23年度0.463(単位はkg-CO₂/kWh)

◆**取り組み状況**

平成23年度における温室効果ガス排出量の結果は、全体で基準年度と比較して13.7%減少しました(表1)。

省エネに関する取り組みは、各部署で自己評価を行った結果、対象の34項目のほぼすべての項目について「常に取り組んでいる(5点)」「概ね取り組んでいる(4点)」という評価となりました(表2)。

東日本大震災以降の節電・省エネ対策が反映されたものと考えられます。

環境生活課環境班 ☎73-0088

◆**表2 取り組み項目点検結果**

確認事項			評価点数		
			23年度	22年度	21年度
電気使用量の削減	照明	昼休み・時間外勤務時のオフ	4.8	4.4	4.4
		廊下・階段のオフ	4.9	4.3	4.4
	OA機器	長時間離席時のオフ	4.5	4.1	4.2
		最終退庁者の電源オフの確認	4.9	4.9	4.9
	冷暖房	空調調整(冷房28℃、暖房19℃)	4.7	4.2	4.1
その他	クールビズ、ウォームビズ	4.8	4.6	4.6	
	テレビ主電源オフ	4.6	4.1	4.2	
燃料使用量の削減	公用車	エレベータ利用を控える	4.8	4.7	4.9
		エコドライブ(省エネ運転)	4.6	4.5	4.6
	施設	アイドリングストップの実践	4.2	4.0	4.0
		走行ルートの合理化	4.5	4.3	4.4
グリーン購入	用紙類	給湯機器などの効率利用	4.6	4.5	4.4
		印刷物作成部数を最小限にする	4.5	4.3	4.4
	水利用	両面印刷の徹底、使用済み用紙の裏面使用	4.3	4.2	4.1
		メール活用による用紙類の削減	4.2	4.1	4.1
	ごみ減量	洗面所、流しの節水の励行	4.7	4.5	4.5
グリーン購入	ファイルやフォルダーなどの再利用	4.3	4.3	4.2	
		文具などの詰替え可能品の購入	4.1	4.1	4.0

(注) 全34項目のうち、主な項目を掲載